

和光市長 2 期目の政策について①

地域 コミュニティ	・あらゆる市の施策に「コミュニティ活性化につなげる」という視点を加えます ・「地区社協」の取組を支援し、その存在を市民に広く周知し、参加する市民を増やします ・異なる分野で活躍する市民団体をマッチングして、活動の輪を大きくします ・国交省の後押しで行われる「広沢地区まちなか再生推進事業」に積極的参加し、将来的に市内全域での応用につなげます ・和光市には様々な分野で活躍している人が大勢います。「自分の住む地域にそういう人が居るんだ」と知ることでもっと地域に愛着を持てるように「(仮称) 誰もが目指せる市民栄誉賞」を創設します
子どもの 居場所づくり	・「多様な居場所」と「学びの選択肢」をつくって、未然防止→早期発見・支援→長期化対応体制を築きます。特にメタバースやオンライン教材の活用も進めます。また長期化する場合の不登校児家庭を支える仕組みづくりを市の部局を越えて実現します ・子どもたち、特に発達に課題のあるお子さんの心身の発達を、遊具や運動を通して促す「運動療育」の視点を取り入れた事業等を市内公共施設で実施します ・保育の「量」から「種類」への転換（保育定員の確保のための小規模保育から、様々な子育てニーズに特化した保育への転換）を促します ・「朝の小1の壁」を解消するため小学生の「朝の居場所づくり」を行います
駅北口・南口	・「区画整理」と「駅前再開発」を推進し、和光市の新たな玄関口として相応しい街並みを形成します ・再開発では、市民の声を反映した公共公益機能、通行動線に合わせた交通誘導を取り入れます ・県の協力を得て、朝霞方面への右折車渋滞を緩和します ・タクシープール等を活用し、南口ロータリーに「短時間の駐車ならば無料」で停められる駐車場を整備します
上下水道の 老朽化対策	・国・県とも協力して、市内に埋没された上・下水道老朽化調査や修繕に全力で取り組みます
和光スポーツ アイランド	・自動車でのアクセス改善について迂回路の整備も含めて、県下水道局と交渉します
和光北 インター周辺	・「イノベーション×ウェルネス」をキーワードに、県南西部の玄関口に相応しい活力あるエリアを目指します
和光バイパス	・国・県・都と連携して推進すると共に、地域分断に対して地元の声を聴き徹底的な対策を行います
農業振興	・「近いが美味い」和光市農産物の販路を拡大します ・市民の農業体験を促進します
市役所運営	・多角的な視点で副市長人事を行います。 市の課題状況に合わせて、任期や人数など柔軟に副市長を登用し、多角的な視点で市政運営を行います（※市議会の提案で最大2名まで登用可） ・「議会の見える化」への協力と予算確保 例えば、議会が「委員会のネット中継を行う」と決めたら、そのための予算と協力体制を整えます

和光市長 2 期目の政策について②

和光樹林公園	・ 県・指定管理者と連携して、和光樹林公園や総合体育館内におけるカフェの誘致や演奏会の開催など、さらなる市民の憩いの場、文化・スポーツ活動の拠点として活用します
米軍基地	・ アンテナ基地の早期全面返還を引き続き要請し、将来のまちづくりにつなげます
教育全般	・ 「教育長への手紙」をスタートします 担任や学校長への相談だけでは解決しない課題や全校共通の課題について意見を出せるようにします ・ 給食の「豊富化」 給食が重要な栄養源になっていることも鑑み、ボリュームや品数などを工夫し、楽しみながら健康的な食生活を送れる取組を行います ・ 教育のDX 授業での活用はもちろん、進学・進級時の書類提出のDX化も進め、手続きの簡素化も進めます ・ 研究所や企業との連携 和光市の学校ならではの経験や学びの機会をつくります
高齢者施策	・ 特別養護老人ホームについては公募条件の見直しなどを行い、早期整備を目指します ・ 介護人材確保のため、介護福祉士等の資格取得者に手当を支給します
市内公共交通	・ 市内循環バスの乗り継ぎや利便性向上及び民間バスの路線維持を行います ・ 一層深刻化する運転手不足に備えるため、自動運転バスの実用化に向けた取組を推進します
防災	・ 能登半島地震を教訓に口腔ケアに対応した備蓄用品を整備します
文化芸術振興	・ 音楽やアートなどの多様な文化・芸術を、コミュニティ、国際交流、高齢・障がい福祉、観光、シティプロモーションなど多面的に活用し、市民が気軽に文化・芸術を楽しめる環境を整備します
スポーツ	・ 「いち市民いちスポーツ」の実現を目指して「新しいスポーツ」や手軽に出来るスポーツが出来る機会を増やします ・ 全国の公共施設で初導入となった「わぴあ」の新感覚スポーツ「HADO」を部活動にする取組を応援します
景観形成	・ 景観を損ねる「政治ポスター」を減らします 県の屋外広告物条例の運用を的確に行い、市内に政治ポスターが無秩序に貼られる状況を改善し、より良い景観を実現します ・ 街路樹の適正管理と利活用 「和光市街路樹マネジメント方針」に基づき、倒木や根上がりの恐れのある街路樹を適正管理すると共に、切り株を利活用し、地域おこしに繋がめます
2つの宣言	・ ゼロカーボンシティ宣言 2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、市庁舎や市民の省エネ機器への切り替え等を促進すると共に、市内企業・研究所と連携して取り組みます ・ 平和都市宣言 令和7年度の広島平和記念式典への中学生派遣事業を皮切りとして、継続して市民、特に子どもたちが平和の大切さを感じられる事業を行います